

都道府県別 男女共同参画に向けた若年層への働きかけに関する取組一覧

No	実施主体名	戻る(クリック)	概要
1	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	パーソナルケアブランドのDove(ダヴ)との協働プログラム。「理想的な容姿 = 社会で形成されている作られたイメージ」に疑問を投げかけることから始め、自分の外見に対する自信のなさから、いろいろなことに挑戦できない少女たちに、ポジティブな変化をもたらすことを目指している。自分が大切な存在であることを認め、自分を積極的に認めることができる心(自己肯定感)を育てると同時に、さまざまな年齢・立場の人との関わりの中で、他者を認め成長することが期待できる。
2	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	世界中でDove(ダヴ)とともに「大好きなわたし Free Being Me」に取り組んだ結果、さらに多くの人にこのプログラムを展開するために誕生したプログラム。少女や少年の意識や自己肯定感を高めるだけでなく、「問題」を明らかにし、変化をもたらすために、自分たちのプロジェクトを計画する。計画をしていく中で、「アドボカシー」のスキルとアイデアを学ぶ。
3	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	上記「1」のFree Being Meプログラムを一般向けワークショップとして実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ドラッグストアの役員や幹部社員を対象にワークショップを実施。その後、選ばれた店舗責任者60人対象にも実施。</li> <li>・大手ドラッグストア展示会にて1つのブースとして出展し、来場者を対象に実施。</li> <li>・ドラッグストア運営会社主催の親子向けイベント(8月)にてワークショップを実施予定。</li> <li>・子育て情報メディアを運営する会社と連携し、子育て中のママ対象プログラムとして実施。</li> <li>・地域振興を図る一般財団法人と連携し、地域のママ世代を応援するための企画として実施。</li> </ul>
4	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	デートDVの理解を深めるためのオンラインプログラム。デートDVについてのキャンペーンを実施し、多くの人がこの問題について理解を深めることを目的としている。
5	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	少女と若い女性に対する暴力が人権侵害であるという認識を深め、すべての人の人権を尊重する姿勢と、男女間の平等を推進する考え方を身につけることを目的としたプログラム。8つの暴力の形態(ジェンダーの不平等と差別、性的ないやがらせ、家庭内暴力、児童虐待、デートDV、性の対象とされる少女や若い女性、若年強制結婚、女性性器切除)について年代に応じたアクティビティやワークをとおして少女や女性に力をつける。また、このプログラムを実施できる指導者を育成する研修も全国で実施している。この研修を修了すると、小学校1年生から25歳までを対象とした教育プログラムを実施する指導者となることができる。
6	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	特定の性別に関わらず、すべての人が「こうあるべき」という固定観念から解放され、生きやすい社会になることを目指して、ゲストスピーカーによるトークショーや、ワークショップを実施。
7	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	被災地のニーズを捉え、永年にわたり青少年教育に取り組んできたノウハウと全国の会員のチカラをいかし、復興・発展するための継続的な支援活動と青少年対象の防災教育を実施するプログラム。教材として「めざせ防災マイスターアクティビティ集」を発行し、広く全国で取り組んでいる。このプログラムに取り組むことで子どもたち自身が力をつけるだけでなく、地域や社会にも貢献している。全国各地で実施している活動をHPやSNSでシェアし、活動の活性化を奨励している。
8	公益社団法人ガールスカウト日本連盟	<a href="#">戻る</a>	足元の緑を増やす活動から世界のこと、地球のことへと視野を広げて、自分たちにできる活動に取り組むプログラム。まずは自分たちが住んでいる地域の環境を知り、地域がより良い環境になるよう活動を通し考える。そして環境問題は日本だけの問題ではなく、地球規模の問題であることを知り、世界に目を向ける。このプログラムに取り組むことで子どもたち自身が力をつけるだけでなく、地域や社会にも貢献している。全国各地で実施している活動をHPやSNSでシェアし、活動の活性化を奨励している。
9	【主催】兵庫県、大学生協関西西北陸事業連合、学生団体スマセレ 【協力】一般社団法人日本ヒーブ協議会、日本ハム株式会社、全国大学生協連関西西北陸ブロック	<a href="#">戻る</a>	大学生のキャリア形成醸成を目的として、大学生を対象としたワークショップを開催。日本ヒーブ協議会は、会員企業の取組事例を紹介し、大学生が消費者市民社会と消費者志向経営を考える機会を提供。
10	お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーションセンター	<a href="#">戻る</a>	アンコンシャスバイアスの解消を目指して、子どもたちに向けた啓発教材を作成。 男女共同参画社会を受け入れる素地となる共通認識を小学校の低学年の時期から育てるために、人々の多様性を理解し、自分やほかの人の尊厳を守るという観点からの教材を企画・作成。開発した教材を、文京区および北区の小學生に向けて配布を開始。 子どもと保護者に向けたワークショップの開催と、開発教材の改善と活用に関して、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンターをハブとして、近隣地域の担当者や退職教員らとの協議の実施。